



蔡國華 ドロイング 作品展

昨年12月に行なわれた「蔡國華ドロイング作品展」では人気のドロイング作品を多数展示いたしました。コンテやパステルなどのシンプルな線は、人体の美しさを迷いなくとらえ、いきいきとした躍動感までも感じさせるものでした。中でも目を引いたのが11月の上海アートフェアに出品した「神曲」シリーズ。実物は一点が約180×90センチサイズの連作ですが、画空間ではアートプリントにおこしたものを壁一面に展示し、全体の雰囲気味わっていただきました。さらにお選びいただいたアートプリント作品を額装し、ご自宅に飾っていただけるサービスも開始しました。

今回はこの展覧会の内容を収録した図録も制作販売しました。今後も展覧会ごとにシリーズとして発行する予定です。このコレクションの楽しみも増えそうです。



また、この展覧会に伴い、初日にはオープニングパーティーを開催しゲストにチェリストの袴田容さんをお迎えしました。袴田さんの奏でるチェロの音を画空間自体が大きい楽器のように包み、香るような調べとなって聴くものの心に落ちていくようでした。



蔡國華 スケッチ小品展

2014年最初の展覧会「蔡國華スケッチ小品展」では蔡國華が各地でスケッチした小品を中心とした作品を展示いたしました。

スケッチブックの紙色を活かし、小振りながらも街の息づかいや人々の暮らしの瞬間を切り取ったようなおしゃべりな作品に、旅の思い出など語られるお客様もいらつしました。中央に展示した油彩の大きい作品は今年のカレンダーの5枚目の図柄にもなっています。原画を前にしてその迫力に、お客様も足を長くどどめていました。



画空間は、2014年も新たな挑戦と充実した活動を目指してまいりたいと思います。多くの方が集う場所、多くの方がアートにふられる場所としての創造空間となることを願い、これからも発信を続けます。



袴田 容(はかまだ よう)
東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻卒業。10歳より大石修氏の手ほどきにてチェロをはじめ。国内のコンクールにて多数受賞。2010年、オーストラリア・ザルツブルグのモーツァルトウム音楽院夏期国際アカデミーにて、Julius Berger, Umberto Clericiの両氏のマスタークラスを受講、ディプロマを取得する。TGS(Tokyo Geidai Strings)のメンバーとして多数の国内外公演に参加。

大きな出会い

チェリスト 袴田 容

去年、軽井沢朗読館館長の青木裕子さんからご紹介頂き、軽井沢で行われたヒューマン・フロンティア・フォーラム2013に参加させて頂いたことがきっかけで、画空間の方々をはじめ、多くの色々な業種の方々知り合うことが出来ました。

これまで一人の演奏家として沢山の経験をしましたが、その中でもこの出会いは、今までの自分の考えを大きく変える経験の一つとなりました。それは、演奏家が良い音楽をお届けするためには、日々練習に励み演奏する作品を深く洞察することがもちろん大切ですが、それと同じくらい、他業種の方のお話を耳を傾け自分がある世界とは違う世界を知ること、自分の音楽の幅を広げることがとても重要だということでした。

音楽を提供するだけではなく機会があれば積極的に交流を深め、そして今度は僕から皆様へ新たな音楽の魅力を伝えることが出来れば、それは本当に素晴らしいことです。演奏家として何より嬉しいことです。これからも、一人の演奏家として皆様へ音楽の魅力を沢山お伝えすべく頑張っていきたいと思っております。

公開炉辺談話

「モツタイナイ！食品ロス削減に向けて包装にできること」をテーマに「公開炉辺談話」と銘打ったパネルディスカッションが2014年2月20日(木)に行われました。

クリロン化成(株) 栗原社長を司会者として、パネリストは、(株) パッケージング・ストラテジー・ジャパン社長の有田俊雄氏、神戸大学教授 石川雅紀氏、セカンドハーベスト・ジャパン広報 井出留美氏、技術士 住本充弘氏の4名(五十音順)。聴衆には、「もったいない」に関心があり、それぞれ周りに影響力を持つ方々の自由な発言とココへの拡がりを意図して、行政、メディア、コンサルタント、包装メーカーなどから限定した約30名が招待されました。



会場は日本唯一のクロアチアンレストラン Dobro、



「公開炉辺談話」という名前からも分かる通り、会場も含めて何もかもがこれまでに例を見ない発想と形式によって、社会的課題についての問題提起を試みる場となりました。

今回は、食品ロスと包装の近未来について、日本や世界各国の食品ロスの現状と対策、農家から消費者に食品が渡るまでの各段階における食品ロス削減に貢献できるパッケージ技術、サステナブル社会の実現に向けてパッケージが今後どうあるべきかなどについて議論がされました。会場からも矢継ぎ早に、流通、包装技術、消費者行動など多岐にわたるコメントが寄せられ、会は盛況のうちに幕を閉じました。(事務局担当)



クリロン化成 技術開発課 清水仁恵

ダイヤモンド経営者倶楽部による表彰

クリロン化成がダイヤモンド経営者クラブの「優秀企業賞」を受賞しました。ダイヤモンド経営者クラブとは次世代産業の中核を担う中堅、ベンチャー企業経営者を多面的に支援する目的で出版のダイヤモンド社を母体として設立されたクラブです。その会員約500社の中から毎年未上場の企業を中心に優秀な企業が選考委員によって選ばれます。授賞式当日は栗原社長が出席出来ず、急遽社長代理として私が出席しました。選考委員会ではノミネートされた20社の企業から8社が選ばれました。推薦者の方が、授賞式でお会いした際「栗原社長は実に面白い方だ。女性の起用方法が実にうまい。女性を活用させたら右に出るものはいない」と仰っていたのが印象的でした。クリロン化成は女性が輝ける企業というのも受賞の要因の一つだったようです。



式の後には開かれたパーティでは出席されている始の方が経営者という空間。1月という季節柄も重なり、未来、希望に満ちあふれて会場全体がキラキラしていました。日本経済がこのままキラキラ輝いていくですね。(社外交流担当 斎藤牧子)

緑風会

「緑風会」とは、1年に1度全社の4年未満の若手社員が一堂に集まり、自由に企画実施をする親睦研修制度です。今回は総勢32名の参加で「三人寄れば文殊の知恵」というコンセプトのもと、2月14日からの泊2日、丹後あじわいの郷情報交流センターにて楽しみながらグループディスカッションができる研修ゲームを実施しました。若手ならではの意見が飛び交い、大変盛り上がりました。研修後の懇親会ではバレンタインデーにちなみ、ゲームの上位グループにチョコレートの景品を贈呈したり、他部署との交流も行われ、有意義な時間を過ごす事ができました。(緑風会幹事 来住早苗)





「ハノイの昼下がり」蔡國華

Information



〈原点〉 蔡國華 青春期のデッサン展 Part.1

80年代、上海。蔡國華が画家を目指す17～18歳の時、毎日のように街に出かけてはそこにいる人々をモデルにデッサンの練習をしました。不安と苦悩と希望の入り交じった瑞々しくも渾身の線…蔡國華の原点ともいべきこれらデッサンの数々の一部を展示いたします。当時の紙、当時のコンテにこめられた熱い想いがここに蘇ります。

会期：2014年4月21日（月）～26日（土）12：00～18：00
場所：画空間 104-0061 東京都中央区銀座2-11-18 銀座小林ビル3F Tel. 03 (3546) 3377

画空間ホームページ <http://www.a-kukan.com/>